

令和5年度 第3回学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 : 令和6年2月16日(金) 14:00~15:30
- 2 開催場所 : 池田高等学校 会議室
- 3 出席者 : 協議会委員 5名
教職員 4名

4 内容

- (1) 令和5年度学校経営計画の評価案(達成状況)について
- (2) 令和6年度学校経営計画の計画案について
- (3) 保護者からの意見調査の現状報告について - 問合せなし

5 協議事項

- (1) 令和5年度学校経営計画の評価案(達成状況)について

校長より、配付資料に基づき進捗説明

- 1) ICT活用 - 多くの生徒がchromebookを効果的に活用できている。(学校教育自己診断の結果に基づく)
- 2) 授業改善 - 多くの生徒が、授業内で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。(授業評価アンケートの結果に基づく)
- 3) 自学自習 - スタディサプリの活用等を通して、自学自習時間は少しずつ上昇傾向にある。校内に暖房利用可の自学自習スペースを整備した。
- 4) 進路指導 - 令和6年度に「校内予備校企画」を実施することを決定した。
- 5) 生徒指導 - 今後、生徒が納得できる生徒指導を心がけていく。
- 6) 学校行事 - 体育祭・文化祭はコロナ禍前の規模で開催できた。今後も、生徒の成長に資する学校行事の充実を図る。
- 7) 国際理解 - 豪州語学研修を4年ぶりに再開、定員40名を超える応募、抽選による選抜を実施した。
- 8) 施設改修 - 体育館の排水設備改修・空調設備設置を実施、令和6年度の床改修計画を策定した。「大阪教育ゆめ基金」ではグラウンド照明3基設置の見込みが立った。
- 9) 情報発信 - 中学生向けのホームページを新設した。学校公開行事では昨年度比で参加者200人増を達成した。

以下、質疑応答。

委員 生徒向けアンケートの実施方法はどのようなものか。また、アンケート結果は数字の小さな変化にとらわれ過ぎず、大きなトレンドを掴むことが重要ではないか。

学校 Googleフォームを活用し、学校でも自宅でも回答できるようにしている。結果の解釈についてはご意見を今後の参考にする。

委員 公立高校での「校内予備校企画」は可能であるのか。

学校 東京都立高校では複数校で実施されており、府立高校でも本校を含めて実施検討が具体的に始まっている。大阪府教育委員会も把握している企画である。

(2) 令和6年度学校経営計画の計画案について

校長より、配付資料に基づき計画案を説明。

- 1) めざす学校像 - 新たに定めたスクール・ミッションに応じた文言修正を行った。
- 2) ICT活用 - 文部科学省のDXハイスクール事業への応募を行い、校内ICT環境のさらなる整備を図る。
- 3) 授業改善 - 全ての教科で「思考力・判断力・表現力を育む学習」の取組みを進める。
- 4) 進路指導 - 夏季休暇期間を利用した「校内予備校企画」を試行実施する。
- 5) 人権学習 - 「いじめのない集団作りを推進する」旨を文言追加した。
- 6) 学習と部活動の両立 - 「生徒自身の自己管理能力を高めるための支援を行う」旨を文言追加した。
- 7) 教育相談 - 令和6年4月に予定される学校教育法施行規則の一部改正を受けた、ICTを活用した不登校生徒への支援の具体化を進める。
- 8) 学校施設 - 引き続き「大阪教育ゆめ基金」事業を進め、グラウンド照明整備を行う。
- 9) 働き方改革 - 「大阪府における部活動等の在り方に関する方針を遵守する」旨を文言追加した。
- 10) 情報発信 - 中学生対象の学習塾等への情報提供や連携活動を強化する。

以下、質疑応答。

委員 DXハイスクール事業の補助対象や採択基準など、詳細を説明してほしい。

学校 ICT機器などの購入費や外部講師費、本校教員の研修旅費などの費用が補助対象である。文部科学省が提示する項目ごとに配点されており、総点が高い学校が採択されると聞いている。

委員 採択の成否は、他校との差別化ができるかどうか重要である。情報分野に限定された一般的な計画ではなく、文理融合を謳う内容を明確するなど、審査担当者の目を引く計画をまとめてみてはどうか。

学校 文理融合のテーマはぜひ計画に盛り込みたい。

以上